

ながさきSociety5.0推進プラットフォーム 基盤整備・課題解決部会 第1回課題解決ワーキンググループ

本年度の市町の取組について

～五島市、新上五島町におけるスマートアイランド推進実証調査～

令和2年10月30日

事務局資料

令和2年9月18日
国土政策局離島振興課

令和2年度 スマートアイランド推進実証調査が始動！

～離島に新技術を導入し、離島の課題解決を図るための実証調査を実施します～

- 国土交通省では、離島地域が抱える課題解決のため、ICTやドローンなどの新技術の離島地域への実装を図る「スマートアイランド」の実現を推進しています。
- 今年度は、新技術の導入に向けた実証調査を行うため、その企画提案募集を行い選定した結果、様々な異なるタイプの離島全国10地域において、離島地域の課題解決に資する取組として実施することとなりましたので、選定地区の概要をお知らせします。

1. 調査の概要

ICTなどの新技術等を導入し、各離島地域が抱える物流、交通、エネルギー、医療等の課題の解決を図るため、離島を有する地方公共団体と新技術等を有する民間企業・団体等が共同で現地実装に必要な実証調査を行います。

また、本調査で得られた成果や知見を全国に普及・展開させることで、より一層のスマートアイランドの推進及び離島地域の活性化に繋がっていきます。

2. 調査実施箇所

以下の10地域（詳細は、別添資料をご参照ください）

- ・東京都八丈町（八丈島）
- ・愛知県南知多町（日間賀島など）
- ・三重県鳥羽市（神島など）
- ・島根県海士町（中ノ島）
- ・広島県大崎上島町（大崎上島）
- ・香川県三豊市（粟島）
- ・長崎県新上五島町（中通島など）
- ・長崎県五島市（福江島など）
- ・熊本県上天草市（湯島）
- ・大分県佐伯市（大島）

3. その他

スマートアイランドに関する情報については、以下の国土交通省ホームページをご覧ください。

<https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chirit/smartisland.html>

【担当者連絡先】

国土交通省 国土政策局 離島振興課 安田、小野（内線 29614、29636）

電話：03-5253-8111 直通：03-5253-8421 FAX：03-5253-1594

令和2年度スマートアイランド推進実証調査 実施地域

離島名	プロジェクト名	主な取組内容	代表団体	離島のタイプ ※
八丈島 (東京都八丈町)	八丈島木質バイオマス等を活用した小規模分散型エネルギーの創出・活用プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 島の特産であるフェニックスパルペーをはじめ島内の木質バイオマスを燃料として活用するため高効率な燃料×小型エンジン×蓄電池を組み合わせたシステムを構築する。 観光客を多く迎える平時でのエネルギー利用と、災害時の電力源等の機動的な利活用の有効性を実証する。 	ランドブレイン(株)	外海 全部
日間賀島、篠島 (愛知県南知多町)	南知多スマートアイランド実証調査	<ul style="list-style-type: none"> 生徒数の少ない離島の小規模学校では実施しづらいグループ学習などを遠隔授業の導入により、本土側学校との交流や新たな教育活動の可能性を検証する。 島内の観光客・高齢者向けの移動手段としてGSMの有効性を実証する。 	一般社団法人 地域問題研究所	外海 一部
神島など (三重県鳥羽市)	TRIMetバーチャル鳥羽離島病院実証プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 鳥羽市離島4島の診療所および本土の鳥羽市立診療所3施設の計7診療所に、クラウド型電子カルテと遠隔診療支援システムを導入し、7診療所にてオンライングループ診療が行える環境を整備し、その有効性等を評価・検証する。 	セコム医療システム (株)	外海 一部
中ノ島 (島根県海士町)	「エネルギーの地産地消」を実現するための実証調査	<ul style="list-style-type: none"> 離島における持続可能なエネルギー確保を図るため、小型「波力発電」装置による発電実証を行うとともに、導入後の島内電力系統への接続方法の検討を行う。 	(株)音力発電	外海 全部
大崎上島 (広島県大崎上島町)	低コスト自動運転・オンデマンド予約を活用した島内交通・物流確保の効果検証	<ul style="list-style-type: none"> 低コスト自動運転モビリティ(低速電動車両(LSEV))とオンデマンド予約システムを活用した島内の新たな交通手段としての可能性を実証する。また、複数の港を繋ぐルートを選定し、海上交通(フェリー)へのアクセス性の向上も検証する。 	(株)富士通総研	内海 全部
粟島 (香川県三豊市)	粟島スマートアイランド推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進む中で、公共交通のない島内における新たな移動手段の確保に向けて、グリーンスローモビリティによる実証運行を行う。 独自の運行管理システムを活用したドローンによる本土-離島間の物流実証を行うとともに、常勤医師のいない離島における遠隔医療の体制構築の実証を行う。 	三豊市	内海 一部
中通島など (長崎県新上五島町)	無人ヘリコプターを活用した離島地域の持続への挑戦 ～しまのリアル魔女宅チャレンジ～	<ul style="list-style-type: none"> 島内の医療体制の向上と島民の生活環境の改善を目指し、無人ヘリコプターを活用した離島間及び離島本土間等の物流(検体などの医療物資や日用品)体制の構築を図る実証調査を行う。 	日本航空(株)	外海 全部
福江島など (長崎県五島市)	省電力×遠隔技術×クリーンエネルギーで実現する五島スマートアイランド	<ul style="list-style-type: none"> アバター等を活用したオンライン診療の体制およびドローンによる検体輸送の体制を福江島と嵯峨島(二次離島)間で構築をし、その有効性等を実証する。 EMS設備を使用した島内のエネルギー需要の「見える化」を図る。平時・非常時の電力需要に対して、AI等を活用し、最適な供給量の調整を実証する。 	五島市	外海 全部
湯島 (熊本県上天草市)	上天草市・湯島のスマートアイランド化モデル事業	<ul style="list-style-type: none"> 島内の急勾配、狭隘な道路環境におけるドローン等を用いた物流手段の最適化を図るとともに、災害時の緊急輸送手段としての活用の実証を行う。 島内の再生可能エネルギーの活用及び物流手段の電動化の検証を実施する。 	(株)NTTデータ経営 研究所	外海 一部
大島 (大分県佐伯市)	大分県佐伯市大島における遠隔医療・ドローン配送プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 「スマートメディカルアイランド構想」として、複数の診療所をICTを活用して有機的に連携し、遠隔医療やドローンによる医薬品配送を組み合わせ、地域医療サービスの構築を実証する。 	(株)ゼンリン	外海 一部

※離島のタイプ：外海(外海に位置する離島)、内海(内海に位置する離島)、全部(自治体全域が離島である)、一部(自治体の一部に離島が含まれる)

スマートアイランド推進実証調査 事例紹介

大崎上島 (広島県大崎上島町) 低コスト自動運転・オンデマンド予約を活用した島内交通・物流確保の効果検証

島の課題

- 通勤、買い物、通院等への島内移動手段の不足
 - ドライバー高齢化等による公共交通機関の維持への懸念
- ⇒ 次世代の持続可能な島内交通・物流手段の確立が必要



調査体制

大崎上島町推進協議会

- (株) 富士通総研
- 大崎上島町
- さんようバス (株)
- 広島商船高等専門学校

その他関係者が協力

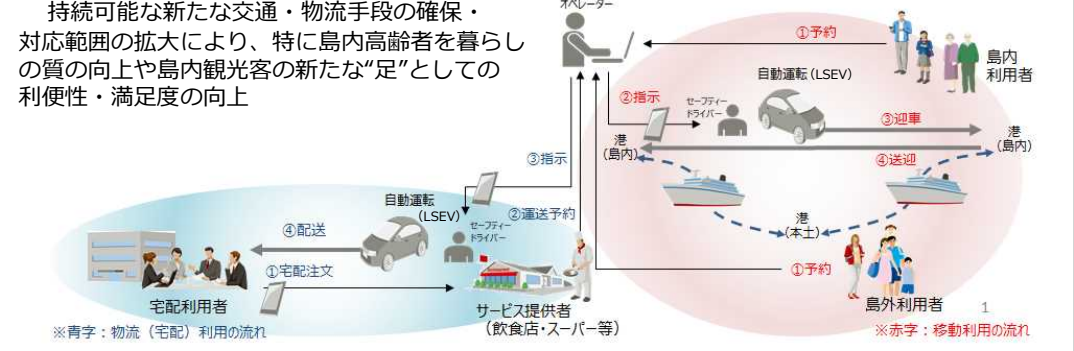
主な取組概要

- 低コスト自動運転モビリティ（低速電動車両（LSEV））とオンデマンド予約システムを活用した島内の新たな交通手段としての可能性を実証する。
- 実証エリアは、複数の港を繋ぐルートを選定し、海上交通（フェリー）へのアクセス性の向上も検証する。
- さらに、同じ車両とシステムを利用した宅配の実証も行い、物流手段としての可能性も実証する。

目指す姿・期待する効果

- 海上交通との接続・港間移動等島内交通の効率化による負担軽減
離島特有の海上交通への接続のための島内港間の移動にあたり、低コスト自動運転やオンデマンドシステムの導入により、海上交通と連動したアクセス性の向上や島内移動の利便性向上による利用者の負担を軽減

- 島内の交通・物流（宅配）対応範囲の拡大による暮らしや観光への利便性・満足度の向上



神島、答志島等 (三重県鳥羽市) TRIMetバーチャル鳥羽離島病院実証プロジェクト

※TRIMet: Toba Rural area & Island Medical team

島の課題

- 離島地域における安定した医療サービスの提供は、島民が安心して暮らしていく上で必要不可欠。
 - 人口減少による厳しい診療所運営、全国的なへき地医療に携わる医師不足による診療所医師の持続的な確保が困難。
- ⇒離島地域での効率的な医師配置やICTを利用した診療等、最適な診療所運営手法の確立が必要



調査体制

TRIMet推進協議会

- セコム医療システム (株)
- 鳥羽市
- 鳥羽市立診療所 (本土側、離島4島)

その他関係者が協力

主な取組概要

- 鳥羽市離島4島にある神島、桃取、菅島、坂手診療所および本土の鳥羽市立診療所3施設の計7診療所に、クラウド型電子カルテと遠隔診療支援システムを導入し、7診療所にてオンライングループ診療が行える環境を整備し、その有効性等を評価・検証する。
- 新型コロナウイルスの感染拡大に備え、遠隔診療による島民の感染症リスクを低減に繋げる。

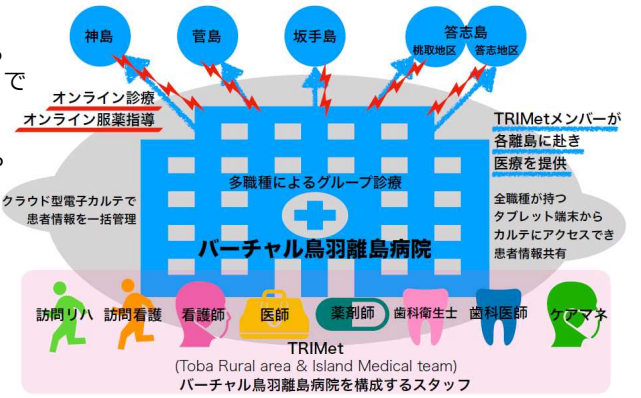
目指す姿・期待する効果

- ICTを活用して複数の離島が連携した、効率的な診療体制を構築
鳥羽市内4離島と本土側診療所の医療資源の効率的活用とコスト負担改善のため、グループ診療と多職種連携、オンライン診療を組み合わせた「バーチャル鳥羽離島病院構想」の実現を目指す。

- 島に医師が不在時でも対応可能な安心できる「離島」での生活を確保

オンライン診療により、島に医師が不在時にも繋がることができ、島民の不安軽減と医療の質の維持を可能とすることで、持続可能な安心できる「離島」での暮らしを確保する。

また、将来的には医療の他に薬剤師や介護等の分野でも導入を目指す。



中通島 (長崎県新上五島町) 無人ヘリコプターを活用した離島地域の持続への挑戦 ~しまのリアル魔女宅チャレンジ~

島の課題

- 医療体制が十分でない離島においては、検体や輸血用血液等の緊急性を要する輸送体制の構築が、島民の安全安心の暮らしの確保のために重要
- 島内物流については、ドライバー不足による物流体制の維持が難しくなる一方で、島内遠隔地では、日用品等の入手のため持続可能な体制構築が課題

⇒ 機動性が高く、緊急対応も可能な無人ヘリコプターによる島内外の物資輸送の実現により、医療及び物流の補完体制が必要



調査体制

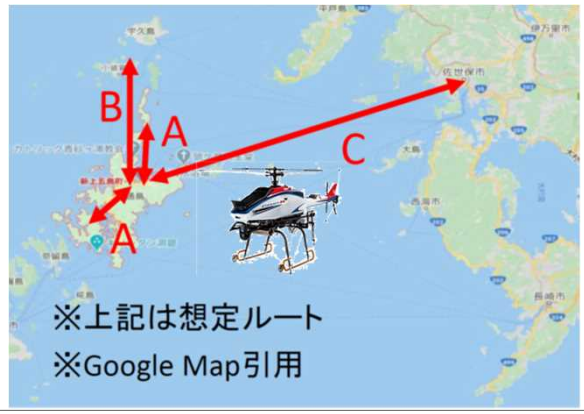
新上五島町 ソリューション協議会	日本航空(株)	新上五島町観光物産協会
	新上五島町	(有)五島軽運送
	ヤマハ発動機(株)	東京大学 防災防災社会連携講座
	上五島病院	
	町立 若松診療所	
	上五島部会内郵便局	

取組概要

- 無人ヘリコプターを活用した離島間及び離島本土間等の物流（検体などの医療物資や日用品）体制の構築を図る実証調査を実施。
- 気象状況や貨物に応じた運行品質の確認や安全運行の評価、地域への貢献状況などを確認等を行う。

目指す姿・期待する効果

- 緊急時にも対応し、島内の医療体制を補完可能な物流体制の実現**
現下の新型コロナウイルス感染拡大防止への対応としても、検査・医療体制の強化は急務の中で、無人ヘリコプターによる医療品等の島内・島外での緊急的な物資輸送を実現することで、島民のより安全・安心した暮らしを確保。
- 島民の日常生活を支える持続可能な島内物流の構築**
無人ヘリコプターの活用により、島内の配送業務効率化、欲しいときにモノが手に入るオンデマンド物流の実現により、島民生活を支え、豊かにする。さらに無人機事業展開による島民の新たな雇用創出にも寄与。

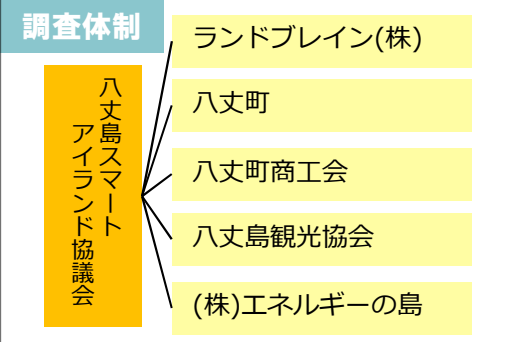


八丈島 (東京都八丈町) 八丈島木質バイオマス等を活用した小規模分散型エネルギーの創出・活用プロジェクト

島の課題

- 四方を海に囲まれた離島では平時・有事におけるエネルギーの安定的な確保は最大の課題。
- 石油系エネルギーは島外からの輸送に依存せざるをえず、本土と比して燃料費も大。
- 雨量が多く、成長の早い植物の廃棄物処理費用も膨大であるとともに、その他建設廃棄物の処理にも、輸送コストの面から大きな負担。

⇒ 島内で発生する木質バイオマスを最大限活用し、平時・有事で機動的に利用可能なエネルギー共有システムを構築



主な取組概要

- 島の特産であるフェニックスパルメーをはじめ島内の木質バイオマスを燃料として活用するため高効率ボイラ×小型エンジン×蓄電池を組み合わせたシステムを構築。
- エネルギーの生産能力の検証とともに、観光客を多く迎える平時でのエネルギー利用と、災害時の電力源等の機動的な利活用の有効性を実証。



目指す姿・期待する効果

- 平時・有事双方に対応可能な小規模分散の自立型エネルギー体制の構築**
木質バイオマスを有効活用し、電気・熱エネルギーへと変換し、平時は島内観光施設等への供給、災害時には、避難施設等の災害対応拠点や発災現場での自立型エネルギーとして活用。
- 燃料調達コストの削減や島内廃棄物処理コストの削減による負担の軽減化**
石油系エネルギーからの転換により、燃料コストの削減を図るとともに、島内で発生する木材等の廃棄物量を低減させることで、その処理費用の負担軽減を実現。





共同リリース

令和2年9月23日

五島市民電力株式会社
双日株式会社
ANA ホールディングス株式会社
株式会社NTTドコモ九州支社
国立大学法人長崎大学
公益財団法人ながさき地域政策研究所
五島市

長崎県五島市がスマートアイランド推進実証調査業務推進のため民間企業等と協定を締結。遠隔医療、ドローン、IoTなどの最新技術で離島の課題に挑む

- ◆ 令和2年度国土交通省スマートアイランド実証調査事業において五島市が国と契約締結
- ◆ スマートアイランド実証調査事業推進のための協定を五島市と企業が締結
- ◆ 2020年度は二次離島と本島を結ぶ遠隔医療×ドローン物流、スマート水道メーター、エネルギーマネージメントシステムの調査

五島市（市長：野口 市太郎）ならびに五島市民電力株式会社（代表取締役社長：橋本 武敏）、双日株式会社（代表取締役社長：藤本 昌義）、ANA ホールディングス株式会社（代表取締役社長：片野坂 真哉）、株式会社NTTドコモ九州支社（執行役員九州支社長：齋藤 武）、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（科長：川上 純）、公益財団法人ながさき地域政策研究所（理事長：菊森 淳文）は、令和2年度 スマートアイランド推進実証調査業務（五島市）に係る協定を締結しました。

国土交通省のスマートアイランド実証調査事業の一環として、遠隔医療×ドローン物流による離島医療の利便性と不安定さの解消、LPWAを活用したスマート水道メーターによる検針作業の工数削減、および効率的な再生可能エネルギーの地産地消を目指す電力マネージメントシステムの導入調査、以上の3つの事業を実施します。この度、協定締結団体の代表として、五島市が国土交通省と同事業に係る業務委託契約を締結しました。なお、五島市は今後、中長期的なスマートアイランド構想を計画していく予定です。

各事業内容と各事業者の役割

■ 遠隔医療×ドローン物流による離島医療サービスの利便性と不安定さ解消

嵯峨島（66世帯107人）の出張診療所から住民がアバターロボットおよびタブレット端末を介して、福江島の医療機関を受診でき、ドローン等で検体および処方薬を島間輸送できる仕組みを実証的に構築します。

嵯峨島では週1回（水曜午後）福江島在住の医師が出張診療に訪れるが、悪天候時には医療が提供できない。このため医療提供頻度、およびその確実性が高くない。このような環境下で、住民が二次離島に住みながらより安定的に遠隔で診療を受けられ、ドローンおよび船舶等で処方薬を受け取れる、非接触型の新しい形の離島医療モデルを実証的に実現し、社会実装のための課題を検証します。

（主な事業者及び役割）

長崎大学離島医療研究所：地域診療所と連携し遠隔医療の実施、域内医療従事者の合意形成などを担当。五島市に事務所を設置し、日頃から離島・へき地医療の課題解決に取り組む。

ANA ホールディングス株式会社：医薬品等の配送受付からドローン物流の運航管理全般と配送依頼システムの構築を担う。

株式会社NTT ドコモ九州支社：空のLTE強度を見える化し、空のインフラであるエアウェイ策定をサポート。また、遠隔医療およびドローン飛行における通信環境を提供。

avatarin 株式会社（協力事業者）：医師-患者間のコミュニケーションを円滑にするサポートツールとしてアバターロボット「newme(ニューミー)」を提供。

■ スマート水道メーター事業

水道メーター検針業務を自動検針に切り替え、人手をかけずデータを正確に収集することで、人件費等の費用の削減を図るとともに、漏水検知アラート、使用量監視による住民のみまもりサービスなど、新たな行政サービスに繋がるデータベースの確立と活用可能性を検証します。

実証は、市内の公営住宅6棟（約80戸）を対象として行う予定です。

（事業者及び役割）

双日株式会社・双日九州株式会社（協力事業者）：スマートメーターの設置、LPWAによる水道使用量データの送受信など、実証業務の全般を担う。

■ エネルギーマネジメント事業

地域資源を利用した洋上風力発電等によるエネルギーの地産地消を目指し、エネルギーマネジメントシステム（EMS:Energy Management System）を使用した離島内におけるエネルギー需要の「見える化」を図り、平常時又は非常時における電力需要に対して適切な電力供給を行うための可能性について調査を行います。

（事業者及び役割）

五島市民電力株式会社：市内におけるEMSの導入可能性調査における業務全般を担当。

全体管理

五島市（協議会代表団体）

公益財団法人ながさき地域政策研究所

お問合せ先

(協定全般およびスマート水道メーター事業に関して)
五島市総務企画部政策企画課政策企画班 田道 0959-72-6127

(遠隔医療×ドローン事業に関して)
五島市産業振興部商工雇用政策課 濱本 0959-72-7862

(EMS 事業に関して)
五島市産業振興部再生エネルギー推進室 時津 0959-88-9503



共同リリース

令和2年10月22日

国立大学法人長崎大学
ANA ホールディングス株式会社
株式会社 NTT ドコモ九州支社
五島市
株式会社自律制御システム研究所
avatarin 株式会社
NTT コミュニケーションズ株式会社
メトロウェザー株式会社

長崎県五島市でドローン物流とアバターロボット等を活用した 遠隔医療の離島モデルを構築、患者の受け入れを開始しました

ドローン物流を用いた処方薬配送、アバターロボット等を患者-医師間のコミュニケーションに活用したオンライン診療など、将来の離島地域等の住民の生活を支える新しい地域医療体制を構築し、4か月間の実証運用を実施します。

- ◆ コロナウイルス影響下の特例措置としての遠隔医療実施条件緩和(*1)を受け、近い将来の離島地域住民の生活を支える地域医療体制としての「離島の遠隔医療モデル」を構築し実証
- ◆ ドローンによる処方薬等の福江島-嵯峨島間の輸送を実施
- ◆ 嵯峨島—福江島間のオンライン診療、オンライン服薬指導を R2.10 月から R3.2 月まで提供

五島スマートアイランド推進実証調査協議会（代表団体：五島市 市長 野口 市太郎）は国土交通省スマートアイランド推進実証調査業務の一環として、ドローン物流による処方薬等の輸送、およびアバターロボット、タブレット等を患者—医師間のコミュニケーションツールとして活用した、オンライン遠隔医療の離島モデルを構築し、令和2年10月5日（月）から嵯峨島出張診療所でのオンライン診療およびオンライン服薬指導の提供を開始しました。この遠隔医療実施体制は令和3年2月12日（金）まで実施する予定としており、上記の一部の期間(*2)においてドローンによる処方薬等の輸送体制を提供することとしています。

*1 厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取り扱いについて（令和2年4月10日事務連絡）」（以下、「410事務連絡」という。）による特例措置として、初診からのオンライン診療等が限定的に実施可能となっている。

*2 ドローン物流による処方薬輸送、検体輸送を令和2年11月4日（水）～6日（金）に実施予定。

事業概要

本事業では、初診・再診問わず患者が嵯峨島出張診療所を訪れ、三井楽診療所の医師および五島中央病院に勤務する一部の医師のオンライン診療を毎週月曜日～金曜日の日中の指定した時間帯（対面診療を実施する水曜日午後(*3)及び祝日は除く）に受けることが可能となります。また、院外処方を利用し、幅広い薬の選択肢の中から処方を行い、オンライン服薬指導を介して島を出ずに処方薬を受け取ることを可能とします。この、410 事務連絡による時限的な規制緩和により実現可能となった遠隔医療モデルの効果とその有用性、及び恒久的な規制緩和の必要性等を、本事業を通して検証し、医療資源の限られたへき地・離島部等の地域住民の生活を支える新しい医療インフラを構築するために活用していく意向です。

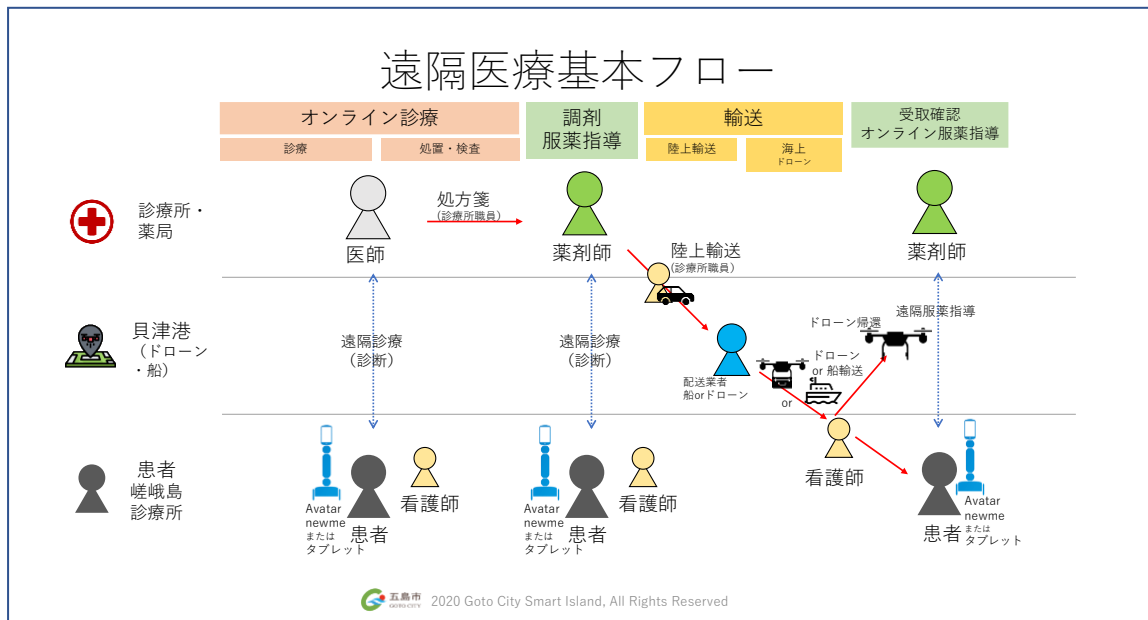
本事業のドローン物流においては、昨年度五島市福江島から赤島、黄島へ計 20 日間実施した取り組みをさらに発展させ、本事業では嵯峨島に、初めて実際の処方薬を搭載して貝津港～嵯峨島間（約 5 km）の運航を行う計画としております。

また、上記の遠隔医療と同時に、五島市立嵯峨島小中学校の保健室から同校学校医である三井楽診療所の医師にタブレット端末のテレビ電話を介して児童の健康について相談するオンライン受診相談を行う体制を構築し、同期間中に実証を行います。

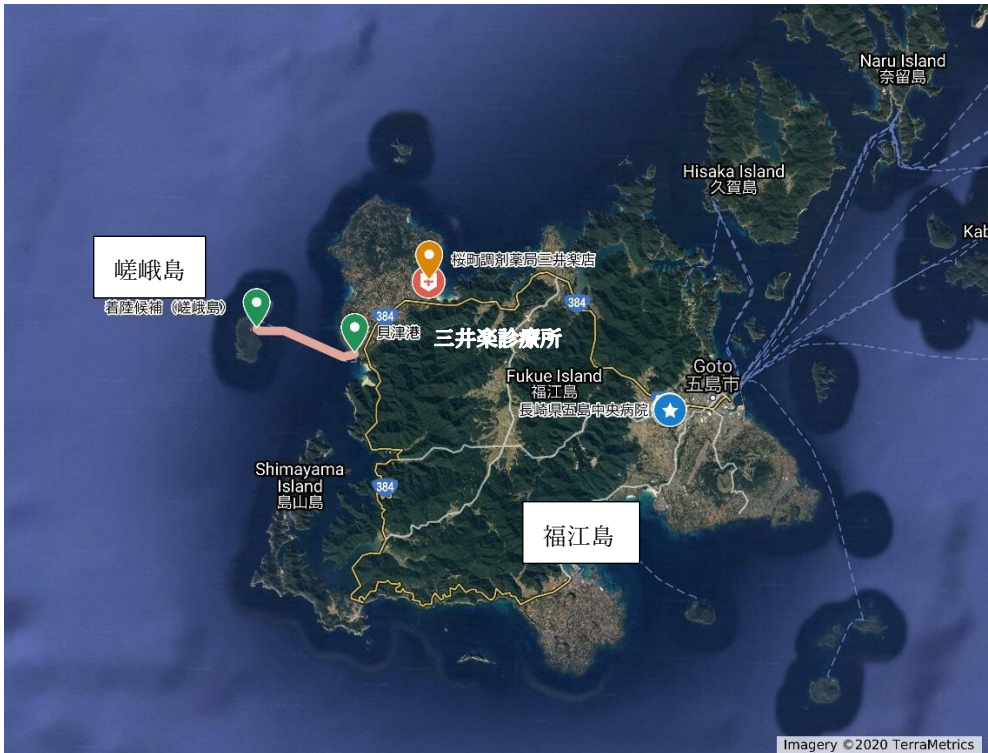
*3 毎週水曜日午後は三井楽診療所医師による嵯峨島出張診療所での出張診療があるため、オンライン診療は実施せず、オンライン服薬指導のみ実施する。

嵯峨島（さかのしま）について：五島市福江島の西 5km 程度の距離にある人口 106 人（世帯数 65 世帯、令和 2 年 9 月末時点、五島市住民記録による）の島。移動は 1 日に 3～4 便定期船が運航する。島には出張診療所があり、看護師が 1 名常駐している。週に 1 度福江島の三井楽診療所から医師が通い、医療を提供している。

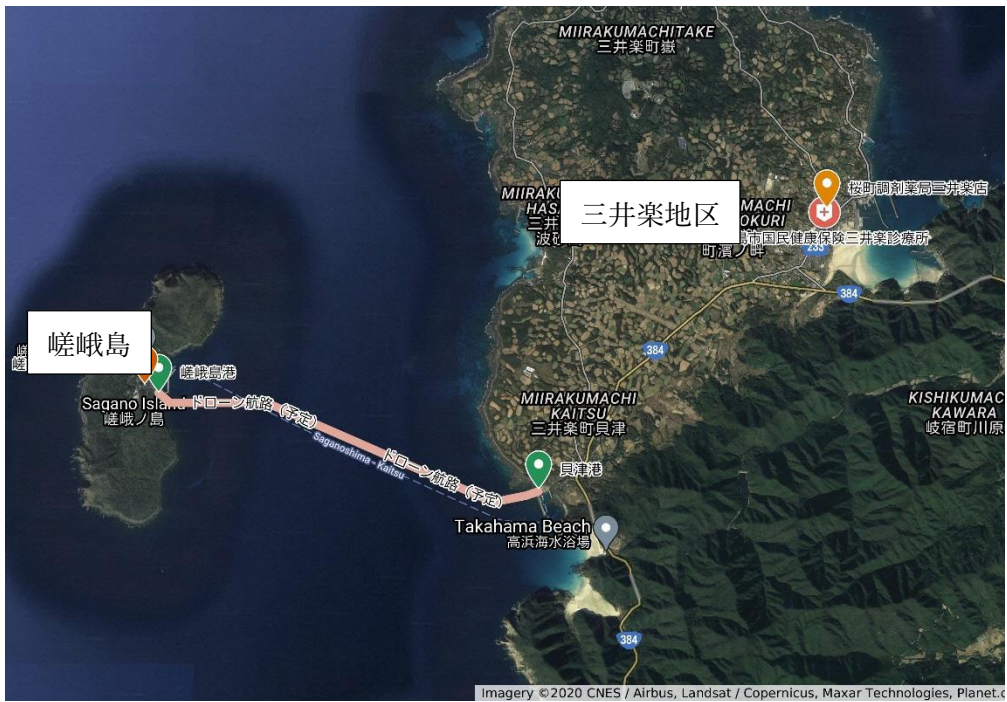
遠隔医療実施フロー



関連地図



詳細地図



遠隔医療×ドローン物流事業実施者および役割

協議会構成員：

- **長崎大学大学院医歯薬学総合研究科**（科長：川上 純）：同大学離島医療研究所を中心に地域診療所等と連携し遠隔医療の計画と実施、域内医療従事者の合意形成などを担当。
- **ANA ホールディングス株式会社**（代表取締役社長：片野坂 真哉）：医薬品等の配送受付からドローン物流の運航管理全般と配送依頼システムの構築を担う。
- **株式会社NTTドコモ九州支社**（執行役員九州支社長：齋藤 武）：空のLTE 強度を見える化し、空のインフラであるエアウェイ策定をサポート。また、遠隔医療およびドローン飛行における通信環境を提供。
- **五島市**：事業の進捗管理、関係機関及び現場調整、市営診療所（三井薬診療所、嵯峨島出張診療所）でのオンライン診療を実施。

協力事業者等：

- **avatarin 株式会社**：医師-患者間のコミュニケーションを円滑にするサポートツールとしてアバターロボット「newme（ニューミー）」を提供。
avatarin 株式会社については web サイトをご確認ください。<https://avatarin.com/>
- **株式会社自律制御システム研究所**：補助者なし目視外飛行の実績豊富な物流ドローン機体の提供及び運航サポート。
- **メトロウェザー株式会社**：小型高性能ドップラー・ライダーにより航路上とドローンポート上空の風況を 3 次元でかつリアルタイムにモニタリングすることでドローンの安全安心運航を実現。
- **NTT コミュニケーションズ株式会社**：ドップラー・ライダーで観測した風況データの収集・蓄積のための通信・クラウド環境と、風況の見える化ツールを提供。
- **嵯峨島小中学校保健室**：タブレットを使用した同校児童の健康に関するオンライン受診相談の実施。

協力調剤薬局：処方箋による処方薬の調剤、遠隔服薬指導の実施。

桜町調剤薬局三井薬店
あおぞら薬局
ニック調剤薬局ごとう店

スマートアイランド推進実証調査（五島市）その他事業について

■ スマート水道メーター事業

水道メーター検針業務を自動検針に切り替え、人手をかけずデータを正確に収集することで、人件費等の費用の削減を図るとともに、漏水検知アラート、使用量監視による住民のみまもりサービスなど、新たな行政サービスに繋がるデータベースの確立と活用可能性を検証します。実証は、市内の公営住宅 6 棟（約 80 戸）を対象として行う予定です。

双日株式会社・双日九州株式会社（協力事業者）：スマートメーターの設置、LPWA による水道使用量データの送受信など、実証業務の全般を担う。

■ エネルギーマネージメント事業

地域資源を利用した洋上風力発電等によるエネルギーの地産地消を目指し、エネルギーマネージメントシステム（EMS:Energy Management System）を使用した離島内におけるエネルギー需要の「見える化」を図り、平常時又は非常時における電力需要に対して適切な電力供給を行うための可能性について調査を行います。

五島市民電力株式会社：市内における EMS の導入可能性調査における業務全般を担当。

お問合せ先

(遠隔医療×ドローン事業について)
五島市産業振興部商工雇用政策課雇用起業促進班 濱本 0959-72-7862

(スマートアイランド推進実証調査事業全般について)
五島市総務企画部政策企画課政策企画班 田道 0959-72-6127